

オンライン開催!

海洋分野の研究×ビジネスの最前線! 「海と産業革新コンベンション（うみコン2022）」事前登録開始!

横浜市では、「海洋都市横浜」を掲げ、都市の活性化や魅力づくりに取り組んでいます。海洋は、日本近海の海底資源開発、洋上風力発電等の再生可能エネルギーをはじめ、まだまだ多くの可能性を秘めており、様々な研究や技術開発が行われています。

このたび、海洋分野の産業振興やビジネス創出を目的とした「海と産業革新コンベンション（うみコン2022）～海洋分野におけるグリーン成長戦略への挑戦～」を令和4年1月20日（木）にオンライン開催することとなりましたので、お知らせ致します。

5回目となる今回は、「海洋分野におけるグリーン成長戦略への挑戦」をテーマに、シンポジウムや企業等からの最先端の研究成果、技術等の紹介を通じて、新たなビジネス機会の創出を図ります。また、サイドイベントとして、神戸市、静岡市、横浜市の3市が連携した初の取組となる「学生海洋ビジネスアイデアコンテスト」の公開プレゼンテーションを実施します。

12月27日（月）より参加者の事前登録を開始致しますので、情報収集や新たな連携、ビジネスのきっかけづくりに是非ご参加下さい。

- 1 開催概要** ※詳細は添付のリーフレット参照
- (1) 開催日時：令和4年1月20日（木）10:00～
※2月20日（日）までアーカイブの公開
- (2) 開催方法：オンライン開催
- (3) 主催：海洋都市横浜うみ協議会、横浜市、
海と産業革新コンベンション実行委員会
- (4) 協賛：東亜建設工業株式会社、株式会社大林組、
一般社団法人日本水中ドローン協会
- (5) 参加費：無料
- (6) 内容：シンポジウム／企業・団体ブース／学生海洋ビジネスアイデアコンテスト



2 主な内容

シンポジウム

- 基調講演：海洋に関する政策・研究・技術開発などの今後の展望についてキーパーソンが登壇。
 - ・我が国の海洋政策について <講演者>内閣府 総合海洋政策推進事務局長 平岡 成哲 様
 - ・台風科学技術研究センターの設置-台風制御と新しい海洋フロンティア- <講演者>横浜国立大学 学長 梅原 出 様
 - ・スコットランド Climate Crisis への取り組み ～洋上風力と脱炭素社会～ <講演者>スコットランド国際開発庁 日本駐在代表, APAC 地域投資責任者 Stephen Baker 様
- 3国研シンポジウム：海洋分野で我が国を代表する3つの国立研究開発法人*から今後の展望等について発表。
 - ※海洋研究開発機構/水産研究・教育機構/海上・港湾・航空技術研究所
 - ・海洋研究開発機構におけるグリーン成長戦略への取り組み <海洋研究開発機構>
 - ・沿岸漁業をめぐる最近の情勢とブルーカーボンについて <水産研究・教育機構>
 - ・カーボンニュートラルに向けた船用システムに関する研究開発 <海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所>
 - ・港湾施設の建設時における脱炭素化に向けて <海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所>
 - ・パネル討論 <パネリスト：上記3国研の講演者・横浜市温暖化対策統括本部>

企業・団体ブース

研究機関・企業等が最新の研究成果や技術・製品等の紹介・発信。

浮体式洋上風力発電、鉱物資源開発、水素・アンモニア、二酸化炭素回収貯留（CCS）、自律型無人潜水機（AUV）など

3 事前登録方法等

【海と産業革新コンベンション（うみコン 2022）】

下記特設ホームページまたは二次元コードからご登録ください。

<http://umi-con.com/>



4 過去の実績

● うみコン 2020

開催日：令和2年1月29日（水）

会場：横浜市開港記念会館

参加者数：約 600 人

● うみコン 2021

開催日：令和3年2月25日（木）～3月17日（水）

開催方法：オンライン開催

参加者数：約 400 人

5 海洋都市横浜うみ協議会の概要

【設立日】平成27年9月28日

【名誉会長・会長】名誉会長：山中 竹春 横浜市長
会長：小林 一美 横浜市副市長

【設立目的】協議会参加企業・団体の皆様と議論しながら、産官学連携により次の取組を進めます。

ア 海洋に関する活動の総合的な情報発信 イ 市民の海に関する理解・関心の向上

ウ 海洋環境の保全

エ 海洋産業の振興

【協議会参加企業・団体（順不同）：32 団体】（令和3年12月時点）

（国研）海洋研究開発機構（JAMSTEC）、（国研）水産研究・教育機構、
（国研）海上・港湾・航空技術研究所（海上技術安全研究所、港湾空港技術研究所）、
（独）海技教育機構、（公財）帆船日本丸記念財団、横浜国立大学、東京海洋大学、横浜市立大学、
神奈川大学、東京大学生産技術研究所、（一財）エンジニアリング協会、
（一社）海洋産業研究・振興協会、（一社）日本舶用工業会、（一社）日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）、
（一社）次世代センサ協議会、（一社）横浜港振興協会、（株）IHI、東亜建設工業
（株）、日揮ホールディングス（株）、横浜港埠頭（株）、（株）横浜八景島、日本郵船（株）、
三菱重工業（株）、古河電気工業（株）、ジャパン マリンユナイテッド（株）、五洋建設（株）、
（株）シーバルーン、（株）セア・プラス、内閣府総合海洋政策推進事務局、
関東地方整備局（国土交通省）、関東運輸局（国土交通省）、横浜市



6 関連イベントについて

※詳細は添付のリーフレット参照

名称：海に関する仕事紹介セミナーin 海洋都市横浜

日時：令和3年2月17日（木） 13:00～17:00

開催方法：オンライン開催

参加企業・団体数：9 団体

内容：海洋分野の仕事について理解を深めるため、大学生・大学院生を対象に企業・団体からの業務紹介を実施します。

特設ホームページ <http://yokohama-umi.jp/seminar/>



2019年度のセミナーの様子

お問合せ先

<記者発表について> 政策局政策課 担当課長 小林 和広 Tel 045-671-4172

<イベント内容について> 海と産業革新コンベンション実行委員会 事務局 Tel 045-663-9151